

## 〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

7月報

### インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ 報告数0件と令和1年12月の6,509件をピークとし減少し収束しています。

### 小児科定点

（全体傾向）

報告総数2,040件（前月比1.80、前年比0.47）で5月の825件を底に増加に転じています。増加の主な部分はヘルパンギーナや手足口病などのいわゆる夏風邪ウイルス感染症が占めています。

（疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症 : 1件の報告です。5月、6月の0件に引き続きほとんど報告がありません。例年7月より増加に転じていますが（前年7月127件）、今年は大きく傾向が異なるようです。
2. 咽頭結膜熱 : 報告数62件（前月比1.2、前年比0.6）と、例年並みの動きで増加傾向です。1才にピークがあります。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 報告数157件（前月比1.2、前年比0.5）です。例年と比較し5月以降の減少傾向が続いています。3～5歳にピークがあります。菊池（定点あたり6.0）、宇城（同6.0）の報告が多いです。
4. 感染性胃腸炎 : 報告数699件（前月比1.5、前年比0.7）とやや増加していますが例年より少なく経過しています。年齢では1歳にピークがあります。報告が多いのは菊池（定点あたり43.4）、山鹿（同41.0）です。
5. 水痘 : 報告数47件（前月比2.0、前年比1.3）です。昨年末より増加を認めていましたが、2月の138件をピークに減少していました。前月比は増加に転じており、例年秋に増加しておりますのでその傾向があるものと思われます。4歳にピークがあります。
6. 手足口病 : 報告数110件（前月比1.8、前年比0.1）と前月比ではやや増加していますが例年と比較し報告数かなり低水準で推移しています。1歳にピークが見られます。菊池（定点あたり5.6）、有明（同5.2）が多いようです。
7. 伝染性紅斑 : 報告数7件（前月比1.8、前年比0.1）と、本年1月の400件をピークに減少傾向でほぼ収束しています。
8. 突発性発疹 : 報告数220件（前月比1.0、前年比1.6）と、報告数も含めて推移は例年並みと思われます。菊池（定点あたり8.4）、有明（同7.2）が多いです。1歳前後にピークがあります。
9. ヘルパンギーナ : 報告数567件（前月比21.8、前年比0.9）と例年同様の推移で夏に大きな増加を認めます。菊池（定点あたり32.8）、有明（同29.4）が多いです。1～2歳にピークがあります。
10. 流行性耳下腺炎 : 報告数20件（前月比1.2、前年比0.4）と昨年末からの低水準が続いています。4～5歳に多くみられます。

## 眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎： 報告数 38 件(前月比 1.5、前年同月 0.5)と前月よりも若干増加しています。全例、熊本からの報告です。年齢別では 20～49 歳にピークがありますが、乳幼児、高齢者層にも散発しています。

## STD 定点

※平成 25 年 1 月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が 13 医療機関から 16 医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症：  
報告数47件（前月比0.8、前年同月比0.8）で、前月比、前年同月比とも減少しています。男女別は、男性に36件と女性11件と男性に多く見られました。年齢別では、男性は20～29歳に15件と多く、女性も20～29歳に10件と多く見られています。地区別は、熊本が36件と圧倒的に多く、次いで有明、宇城に各4件、御船2件、天草1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症：  
報告数 25 件(前月比 1.7、前年同月比 1.3)で、前月比、前年同月比とも増加しています。男女別は、男性 14 件、女性 11 件と男性に 14 件とやや多く見られました。年齢別では、男性は 20～40 歳、女性も 30～70 歳と幅広く見られています。地区別は、熊本が 12 件と多く、次いで菊池 7 件、宇城 4 件、八代 2 件でした。
3. 尖圭コンジローマ：  
報告数は 3 件(前月比 0.4 前年同月比 0.4)で、前月比、前年同月比いずれも減少しています。男女別では、男性 1 件、女性 2 件でした。年齢別では、男性の 20～29 歳と 20 代に限局しておりました。地区別は、熊本が 2 件、次いで菊池 1 件でした。
4. 淋菌感染症：  
報告数は18件(前月比1.3、前年同月比0.7)で、前年同月比は減少しています。男女別では、男性15件、女性4件でした。年齢別では、男性で15～64歳と幅広く見られています。女性は20代と50代に見られました。地区別は、熊本14件と圧倒的に多く、次いで宇城に3件で八代、有明、各1件でした。

## 基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：  
報告数13件（前月比 1.0、前年同月比 0.7）でした。10件（76.9%）が70歳以上でした。乳幼児では0件です。人吉（4件、定点あたり4.0）、阿蘇（2件、定点あたり2.0）が多くなっています。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：  
報告数0件（前月－2、前年同月－4）でした。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：  
報告数0件（前月－1、前年同月に同じ）でした。

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎： 報告数1件（前月比 1.0、前年同月比 1.0）でした。熊本からの報告です。50—54歳です。
2. 無菌性髄膜炎： 報告数3件（前月比 3.0、前年同月比 0.4）でした。熊本からの報告です。50—60歳が2件、25—29歳が1件です。
3. マイコプラズマ肺炎： 報告数1件（前月比 1.0、前年同月比 0.3）でした。減少傾向です。10—14歳1件、有明からです。
4. クラミジア肺炎： 報告数0件（前月に同じ、前年同月に同じ）でした。
5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：  
報告数0件（前月に同じ、前年同月—2）でした。

### 届け出対象感染症

指定感染症	：	新型コロナウイルス感染症	191件
1類感染症	：	報告はありませんでした。	
2類感染症	：	結核	22件
3類感染症	：	腸管出血性大腸菌感染症	19件
4類感染症	：	レジオネラ症	3件
		重症熱性血小板減少症候群	1件
		日本紅斑熱	1件
5類感染症	：	アメーバ赤痢	2件
		クロイツフェルト・ヤコブ病	1件
		後天性免疫不全症候群	1件
		侵襲性肺炎球菌感染症	1件
		破傷風	1件
		梅毒	16件
		百日咳	1件